

## 編 集 後 記

寒気にさらされながらも草木は新しい春に備え、着実に芽をはぐくんでいるこの頃です。

ニューメディアに代表される昭和60年代を迎え、世の中は技術革新に伴いめざましい進歩が予想され、都市活動も今後さらに情報化の進展、産業構造の高度化が促進され、活動に伴う通信・交通の高度化もますます進むものと思われれます。

一方、公団技術の蓄積と共有化を目指した技報も第4号となりますが、技術情報の加工の重要性の認識とともに、執筆者と編集担当の方々には多くの労力と時間をさいていただいています。

それだけに創られた技報がより皆様の業務に活用され易い形へと幹事一同さらに努力して行きたいものです。すなわち、産業構造は軽薄短小化の商品を指向していますが、技術の中味および技報の内容は重厚長大化をねらいたいものです。

最後に、ご多忙中にもかかわらずご協力をいただきました大西理事、各執筆者に感謝するとともに、今後さらに技報を向上させるために皆様方のご理解、ご協力をお願いする次第です。

( 水 元 義 久 )